

2014年度 修学院フォーラム いのち  
第1回

公益財団法人  
日本クリスチャン・アカデミー  
関西セミナーハウス活動センター

最近「ケア」という言葉をよく耳にします。今日の医療・福祉の場において大切な「ケア」についてさまざまな視点からはなしあいをできればと願います。人が人をケアするとはどういうことなのか、真面目に考えてみたいと思います。

# “コントロール幻想”と 新・優生思想の時代

講師 児玉 真美 (作家)

2007年、米国で重症心身障害児アシュリー（6歳）に行われた”成長抑制療法”が大きな倫理論争となりました。健康な子宮と乳房が摘出され、ホルモン大量投与によって身長伸びが抑制されたのです。本人の生活の質と在宅介護のためなら、“成長抑制療法”は倫理的に正当化できるでしょうか。科学とテクノロジーの発達によって世界中に“コントロール幻想”が広がりつつあるように見えます。そこでは、いったい何が起こっていて、私たち人間はどのような存在になろうとしているのでしょうか。みなさんと考えてみたいと思います。

日時 2014年 7月19日 (土) 13:30~17:30

場所 関西セミナーハウス ※会場への地図は裏面をご覧ください。

参加費 2,000 円、学生 500 円 (コーヒー込み)

\*要申込み\* 7月16日までに Fax(裏面)、電話、電子メール等でお申し込み下さい。

児玉 真美 KODAMA Mami

1956年生まれ。広島県在住。京都大学卒業。米国カンザス大学にてマスター取得。英語の教師(高校、大学)として勤務の後、現在、翻訳・著作業。長女に重症心身障害がある(現在26歳)。

著書『私は私らしい障害児の親でいい』(ぶどう社)、『アシュリー事件—メディカル・コントロールと新・優生思想の時代』(生活書院)、『海のいる風景—重症心身障害のある子どもの親であるということ』(生活書院)、『死の自己決定権のゆくえ—尊厳死・「無益な治療」論・臓器移植』(大月書店)。訳書に『春待つ家族』(講談社)、『天使の人形』(偕成社)ほか。

2006年から雑誌『介護保険情報』(社会保険研究所)に連載「世界の介護と医療の情報を読む」を執筆中。2007年からブログ「Ashley事件から生命倫理を考える」で世界の情報を発信してきた。現在のブログは「海やアシュリーのいる風景」。



- ◎スケジュール◎ 13:30～15:00 挨拶・講師紹介  
 講演・発題  
 15:00～15:30 コーヒーブレイク  
 15:30～17:20 質疑とはなしあい  
 17:20～17:30 まとめとアンケート記入



## 2014年度 修学院フォーラム

- 「いのち」 第2回 2015年1月24日(土)  
 「福祉とスピリチュアリティー社会福祉の根源にあるもの」(仮)  
 講師:木原 活信(同志社大学社会学部教授)
- 第3回 2015年2月28日(土)  
 「グリーンケアを考える」  
 講師:高木 慶子(上智大学特任教授、上智大学グリーンケア研究所特任所長)
- 「社会」 第1回 11月1日(土)  
 「科学者の原罪と社会的責任」 講師:政池 明(京都大学名誉教授、物理学者)
- 第2回 11月8日(土)  
 「特定秘密保護法」(仮) 講師:佐藤 優(文筆家)
- 第3回 2015年1月11日(日)～12日(月・祝)  
 「原発をどう位置付けるか」  
 「環境経済学の観点から」(仮)  
 講師:植田 和弘(京都大学大学院経済学研究科長)  
 「神学の観点から」(仮) 講師:西原 廉太(立教大学副総長)
- 「福祉」 第2回 5月24日(土)  
 「ほどほどに去る～終末期医療の現場から～」  
 講師:徳永 進(野の花診療所院長)
- 第3回 2015年3月7日(土)  
 「「葬儀と墓」は誰のために、何のために～キリスト教と仏教の立場から考える」  
 講師:池口 龍法(知恩院僧侶)・塚本 潤一(頌栄短大准教授)

### 【申込み・問合せ】

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー  
 関西セミナーハウス活動センター  
 〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23  
<http://www.academy-kansai.org>  
 電話 075-711-2117  
 FAX 075-701-5256  
 電子メール office@academy-kansai.org  
 所長代行 榎本 栄次  
 事務局 都木 かおり



\* 地下鉄烏丸線松ヶ崎駅、叡山電鉄修学院駅までワゴン車で送迎いたします。定員がありますので、ご希望の方は予めお知らせ下さい。地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、北山駅のほうがタクシーを拾いやすいです。

### 2014年度 修学院フォーラム「いのち」第1回 参加申込書

(フリガナ) 名 前	所 属
住 所 〒	
電話 ( ) - ( )	FAX ( ) - 携帯 ( )
電子メール:	@
通信欄:	